

学校だより

第16号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和8年10月5日(月)発行
児童数 285名 実家庭223戸



一年間の折り返しの時期です

10月の生活目標「ものを大切にしよう」

10月に入り、あちこちで金木犀の香りがただよっています。学校のまわりの田んぼもすっかり秋らしい風景に様変わりし、季節が確実に進んでいることを感じます。

学校は今週末で前期が終了し、一年間の折り返しの時期を迎えます。9月初めに広がった感染症も、その後は落ち着いております。早めの病院受診や早退時の対応等にご協力いただきありがとうございます。今後も、引き続き、うがい、手洗いなど、基本的な感染対策にご協力ください。

今週から、いよいよ子供たちが楽しみにしている遠足が学年ごとに実施されます。たくさんの思い出をつくることができるよう準備して参ります。

体験活動の充実 地域の皆さんにご協力いただきました

3年生の図工の授業で、市内在住の画家の方にチームティーチングの形で入っていただき、構図のとり方や彩色について授業を行っていただきました。「頭と手の大きさはどうだろう?」「色はどこから塗るといいかな?」など、子供たちは一生懸命考えながら画用紙に向かっていました。作品の完成が楽しみです。

4年生は、総合的な学習の時間に、福祉について学んでいます。9月18日に、ひたちなか市社会福祉協議会の方のご協力で手話について学習しました。数字やあいさつ、自分の名前等を手話で表現していました。



3年生 絵画指導



今年度の異学年交流活動は・・・

今年度の異学年交流は、たてわり班ではなく、1・6年、2・5年、3・4年の2学年ごとのチームとして活動します。ロング昼休みに「なかよしタイム」として数回遊ぶ計画を立てています。9月25日に、活動のスタートとして全校でじゃんけん列車をしました。

異学年交流の教育的効果は多々あります。低学年の児童は、上級生と一緒に遊んでくれることを、大人が思う以上に楽しみにしています。また、高学年の児童にとっては、下学年の子たちがどうすれば楽しめるかを考え、計画、実行することで、自己有用感や思いやりの心が育ちます。子供たちのアイデアを大切に活動していけたらと考えています。



4年生 手話の学習

学力向上に向けて

6年生は、毎年4月に全国学力学習状況調査を実施しています。今年の4月に実施した今年度の6年生の国語・算数の結果は、全国の平均より下回っていました。

分析した結果、問題文を最後までしっかりと読み、条件を捉えて答えたり、諦めず粘り強く考えたりすることに課題が見られます。読解力は、一朝一夕には身に付きません。本校では、低学年から意図的に授業の中で文章を読み解くことを大切にしています。

また、今年度は朝の時間に国語タイム・算数タイムを設けました。読書離れも読解力の低下と関連いたしますので、ご家庭におかれましても、ぜひ、読書の楽しみをお伝えいただければと思います。



全校でじゃんけん列車